

[様式 18]

令和5年1月23日

総務大臣 殿

広島県三原市宮沖五丁目8番15号
株式会社 FM みはら
代表取締役 後藤 和之

放送番組審議会議事録の提出について

標記について、放送法施行令第8条第1項第3号の規定により、下記の書類を添えて提出します。

記

番組審議会議事録（第24回、令和4年10月27日開催）

[様式 18]

◀ 別紙 ▶

1. 開催年月日 令和4年10月27日
 2. 開催場所 三原駅前キオラスクエア内 サテラス
 3. 委員出席
委員総数 6名
出席委員数 3名

放送事業者出席者
2名
 4. 議題
番組審議・ご要望について
 5. 議事の概要
 - (1) 開会宣言
放送事業者からの開会宣言
 - (2) 局からの現状報告
事務局より以下の通り報告があった。
今年の臨時放送について：9月18日～19日 台風14号の対応
事務局「9月18日15時に災害対策本部が設置され、これに合わせて対応した。18時に警戒レベル3になり、通常放送から臨時放送に切り替えた。避難所の情報を発信。
20時に警戒レベル4、避難指示が発令。臨時放送を深夜0時まで続ける。深夜0時から6時は音楽のみ。緊急情報対応のため一名スタジオに待機。9月19日7時からモーニングで臨時放送。その後、午前、午後ともに臨時放送。19日18時半に高潮警報解除。19日20時15分に警戒レベル4解除、通常プログラムに戻す。
マニュアルでは警戒レベル4の場合、流す音楽はクラシックにしている。今回、避難指示（警戒レベル4）の状況が長く続いたため、クラシックを継続して流していた。しかし警戒レベル4でも状況には濃淡があり、一律でクラシックを流し続けるのは放送として重すぎるのではないかという意見が放送後の会議で出た。このことから警戒レベル4でもパーソナリティーが判断し、クラシック以外の音楽を流すことも考慮に入れるようマニュアルを変更した。
また、今年度から人員も増え、フォローメンバーも余裕を持って交代ができた。」
- A 氏：中心地は被害が少なかったが、西部は被害があった。情報発信

の加減が難しい。場所によってわからない。」

事務局：15～16 時台は棕梨川が氾濫の危険性がある時間帯があり、警戒レベル 5 になりそうだった。少しの差で状況が変わっていた。」

6. 審議内容

第一号議案「番組審議について」

番組名：「愛され わん・にゃん」

放送日：毎月第 1 月曜日 19 時半から 第 3 月曜日 19 時から

事務局：「愛され わん・にゃん」。これは定期的に保護犬猫の譲渡会などを運営している「ハートのリング」が中心になって制作している番組。番組のテーマは「保護犬猫の譲渡会運営のボランティア」「動物愛護の啓発運動」「ペットの防災」。これらを柱に番組作りをしている。今まで一部の人にしか知られていなかった保護犬猫情報を一人でも多くの方に知ってもらえるよう今年の 5 月から番組をスタートした。月 1 回放送でスタートしたが、スポンサーが増え、10 月から月 2 回の放送になった。FM みはらのパーソナリティ早川千恵がメインパーソナリティとディレクターを兼任している。他の出演者はハートのリングのメンバーの二名。

番組は「犬猫の飼い方」「わんこの手作りご飯」「しつけについて」「病気について」「ボランティア活動」「最新の犬猫の里親募集」などで構成している。

A 氏：番組の反響はどのようなものか？

事務局：月 1 回、生放送で始まった当初はメールも来ない状況だったが半年たってメールが届くようになった。他の番組とリスナーが違う。この番組をピンポイントで聴いているように感じる。

B 氏：譲渡会などイベント告知をしているのか？

事務局：毎回可能な限り告知をしている。

B 氏：イベントをやっている人たちはラジオの反響を感じているのか。

事務局：ラジオを聴いて来たという人がいると報告を受けている。来客に繋がっている。

A 氏：聴いていて勉強になる部分もあるが自分の猫自慢などの部分もある。随分トーンが違う。リスナーはどう感じているのか。

事務局：勉強になる部分と猫自慢などのようなのんびりした部分の両方を楽しんで頂いているのではないかと。ただ、伝えたいことをしっかり伝えたいというところは大きい。以前の放送でも猫がどんどん増えたらどのようになるのか、理解してほしいという話をしてきた。また、放置する人が多いことに憤りを感じているという話もしている。いろいろなメッセージを出したいという想いも大きい。

A 氏：趣味性、趣向性の高い番組、生放送で聞けない人に向けた podcast などで後から聞けたら喜ばれるのではないかと。

事務局：現在、YouTube でも放送している。

第二号議案「要望について」

要望については特別ななかった。

事務局よりクリスマスシーズンの企画「レッツシングクリスマス」について

[様式 18]

説明があった。

事務局：開局2年目から行っている企画。リスナー参加型企画。当初は一般の方に生で歌ってもらい中継をしていた。参加者には学校や児童クラブなどもあった。ただ、新型コロナウイルス感染拡大により生中継が出来なくなった。代わりに個人で録音してもらった音楽素材を放送する形にした。昨年は20組参加して頂いた。現在は録音のハードルが低くなっている。自分の歌を持ってくる人や、グループの方が歌を録音して持ってきている。

B 氏：最近、三原では路上ライブをしている人を見なくなった。

A 氏：ライブハウスなどで歌えるようになったのもあるかもしれない。

B 氏：ライブハウスにチラシを置かせてもらって、その方たちに参加きしてもらえれば良いのではないか。

A 氏：学校の校長会でも案内ができれば良い。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
引き続き、次回の審議会に提案することとする。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法： 事務所への備置き ホームページでの公開

公表の内容： 議題、議事の概要および審議内容

公表年月日： 令和5年1月23日

0日

9. その他参考事項

次回、番組審議会日程 令和5年1月26日木曜日16時

以上